

第49回(2026年度)  
大分県看護研究学会実施要綱

開催日 2026年11月28日(土)

会場 大分県看護研修会館(ハイブリッド形式にて開催)

主催 公益社団法人 大分県看護協会

## 目 次

NO	項 目
<b>I 開催概要</b>	
1	目的
2	日時
3	会場
4	テーマ
<b>II 演題募集について</b>	
1	演題申込み期間
2	演題応募資格
3	演題内容
4	演題申込み方法
5	原稿等の提出について
6	原稿の選考方法について
7	採択結果について
8	発表形式について
9	発表領域の概要
10	個人情報の取扱いについて
<b>III 抄録原稿基準</b>	
	研究報告用 実践報告用
<b>IV 演題申込み用資料</b>	
	演題申込書
	原稿提出用チェック表
	看護研究の倫理に関する自己チェック表
	原稿作成要領
<b>参 考 資 料</b>	
	看護研究に関連する研修

## I 開催概要

- 1 目的** 大分県看護研究学会は、大分県看護協会の重点事業である「看護職の資質向上を図るための教育・研修等に関する事業」に位置付けており、研修や研究発表を通して教育目的である「社会のニーズに対応できる看護専門職としての自律をめざし、看護実践能力の向上を図る」ことをねらいとしている。  
発表領域を原則7領域とし、急性期看護、慢性期看護、地域・在宅看護、精神看護、ヘルスプロモーション、看護管理、看護教育のすべてを扱う。
- 2 開催日** 2026年11月28日(土)
- 3 会場** 大分県看護研修会館(ハイブリッド形式にて開催)
- 4 テーマ** 「看護の力でつくるウェルビーイング」

## II 演題募集について

1 演題申込み期間 2026年5月1日(金)～5月30日(土) 13時まで

### 2 演題応募資格

1) 発表者

(1) 大分県看護協会会員に限る(看護学生を除く)

演題応募の時点で2026年度の入会手続きを完了していること

(2) 看護学生:若干名(特別枠)

### 3 演題内容

1) 看護の質向上と発展に寄与するもので、未発表のものに限る

2) 演題の内容は、研究報告・実践報告のいずれか1つとする

「研究報告」:調査等に基づく研究の成果についてまとめられた、看護学の発展につながる報告

「実践報告」:臨床等の実践内容から得られた成果についてまとめられ、看護実践に示唆を与える報告

### 4 演題申込み方法

1) 大分県看護協会 研修申込サイト(マナブル)より、演題申込書(様式1)をダウンロードし、必要事項を記載する

**申込み**をクリックし、記載した申込書を**ファイル選択**に添付し、提出する

\* 演題内容・発表領域・希望する発表形式について、必ず選択のこと

2) 申込書確認後、マナブルより受取りの連絡をする

### 5 抄録等の提出について

**原稿提出期間: 2026年5月1日(金)～6月30日(火) 13時まで**

1) 提出原稿

(1) 原稿の作成方法は、「抄録原稿作成の手引き」参照のこと

(2) 大分県看護研究学会原稿提出用チェック表、および看護研究における研究倫理自己チェック表を参照し、規程通りに原稿が作成されているか確認する(提出不要)

2) 提出方法

\* 原稿のやり取りはメールで行いますので、メール ([gakkai-j@oita-kango.com](mailto:gakkai-j@oita-kango.com)) に送付してください。

### 6 原稿の選考方法について

「大分県看護研究学会抄録基準」(研究報告・実践報告)にそって学会委員が査読し、選考する

\* 査読後、修正が必要な場合はコメントを付けて、発表者に原稿を返信する

\* 発表者は、原稿を再考・修正して期日までに学会事務局宛に返信する

\* メールのはじめの件名は「学会修正原稿 氏名〇〇〇〇(発表者名)」とする

\* 採択は、修正原稿提出後に決定する

## 7 採択結果について

採択結果は、施設代表者および個人宛に、8月29日（金）頃に発送する

## 8 発表形式について

1) 発表形式は、口演発表（パワーポイント使用）または示説（ポスター）発表

(1) 口演発表は、一題発表8分発表、群ごとに質疑応答の場を設ける

(2) 示説発表は、会場およびオンラインでの口述発表は行わず、質疑応答の場を設ける

\* 発表方法の詳細は採択決定後各自に通知する

\* 学会運営の状況により、発表形式を変更する場合があります。予めご了承ください

## 9 発表領域の概要

領域名	概要
急性期看護	急性の経過をたどる患者（児）と家族に関する研究
慢性期看護	慢性の経過をたどる患者（児）と家族に関する研究
地域・在宅看護	疾患・障害を持ちながら、地域で療養生活している乳幼児から高齢者とその家族および介護者に関する研究
精神看護	精神保健および精神疾患看護に関連する研究
ヘルスプロモーション	乳幼児から高齢者および母性における健康維持増進や疾病予防ヘルスケア・システムに関する研究
看護管理	看護サービスの提供および組織の経営管理に関する研究
看護教育	看護基礎教育および看護職の人材育成に関する研究

## 10 個人情報の取扱いについて

当協会の個人情報保護基本方針に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。当協会主催の看護研究学会実施に際して得た個人情報は、学会に伴う書類作成・発送に用い、この利用目的の範囲を超えて個人情報を取扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取扱います

### Ⅲ 抄録原稿基準

#### 大分県看護研究学会抄録基準（研究報告）

項目	内 容	
表 題	1	内容を適切に表現している
目 的	2	この研究により何を明らかにしようとしているかが明確である
背 景	3	研究の意義が明確である
	4	文献検討が適切である
方 法	5	方法は、目的・目標達成のために妥当である
	6	対象は適切である
	7	データ収集方法及び手順を示している
	8	分析方法は妥当である
結 果	9	目的にそった結果を示している
	10	事実を客観的に示している
	11	図表の表現・体裁は適切である
考 察	12	得られた結果に基づいた解釈をしている
	13	目的にそった考察で一貫性がある
倫理的配慮	14	対象者（又は代諾者）から研究並びに発表の承諾が得られている
	15	個人が特定されないように配慮している
	16	対象者不利益が生じないように配慮している
	17	倫理審査委員会等の倫理審査を受けている
	18	引用文献が明示されている
	19	既存の尺度等の使用について、必要な使用許諾を開発者から得ている
発表価値	20	看護実践に意味ある知見がある

大分県看護研究学会抄録基準（実践報告）

項目	内 容	
表 題	1	内容を適切に表現している
目 的	2	この実践により何を明らかにしようとしているかが明確である
背 景	3	実践の意義が明確である
	4	文献検討が適切である
方 法	5	実践内容は、目的・目標達成のために妥当である
	6	対象は適切である
	7	実践方法の具体的な方法・根拠及び過程を示している
	8	分析方法は妥当である
結 果	9	目的にそった結果を示している
	10	事実を客観的に示している
	11	図表の表現・体裁は適切である
考 察	12	得られた結果に基づいた解釈をしている
	13	目的にそった考察で一貫性がある
倫理的配慮	14	対象者（又は代諾者）から実践並びに発表の承諾が得られている
	15	個人が特定されないように配慮している
	16	対象者不利益が生じないように配慮している
	17	倫理審査委員会等の倫理審査を受けている
	18	引用文献が明示されている
	19	既存の尺度等の使用について、必要な使用許諾を開発者から得ている
発表価値	20	看護実践に意味ある知見がある

IV 演題申込み用資料

第49回(2026年度)大分県看護研究学会演題申込書

申込日 2026年 月 日

表題			
フリガナ 発表者氏名		大分県看護協会 会員番号	
所属施設名 (正式名称)			
発表者 連絡先	*いずれかに○印 1. 自宅 2. 所属施設 (確実に連絡が取れる住所・電話番号をご記入ください)		
	〒 _____		
	住所:		
	TEL :	( ) 内線 ( )	携帯: ( )
	E-mail : * 原稿の査読によるコメントや助言はメールで行います。 <u>原稿のやり取りが可能なメールアドレスをお書きください。</u>		
演題内容	<input type="checkbox"/> 研究報告 <input type="checkbox"/> 実践報告		
発表領域	*発表する領域にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 急性期看護 <input type="checkbox"/> 慢性期看護 <input type="checkbox"/> 地域・在宅看護 <input type="checkbox"/> 精神看護 <input type="checkbox"/> ヘルスプロモーション <input type="checkbox"/> 看護管理 <input type="checkbox"/> 看護教育 <input type="checkbox"/> その他 ( ) *発表領域は選考により変わる場合があります。ご了承ください。		
発表形式	*希望する発表形式にチェックをいれてください。 <input type="checkbox"/> 口演 <input type="checkbox"/> 示説 <input type="checkbox"/> どちらでもよい * 発表形式は選考により変わる場合があります。ご了承ください。		

※ 発表者は大分県看護協会会員であることが必要です

## 原稿提出用チェック表

【応募資格について】		
1		演題申込者（発表者）及び筆頭著者は大分県看護協会の会員である
2		希望する発表形式（口演または示説）を確認している
【原稿について】		
3		原稿内容は他の学会や他誌、本学会の他領域に発表あるいは投稿されていない
4		目的、方法、倫理的配慮、結果、考察および結論、引用文献を含めてまとめている
5		本文は発表原稿作成方法（様式2）に沿っており、 <u>A4判用紙</u> で作成している
6		研究に使用した尺度やモデル等の出典（文献）を明記している
7		本文、図表等は白黒印刷で判別できる明瞭なものになっている
8		本文の文字サイズは10.5ポイント、和文フォントは明朝体で全角、英文やアラビア数字は半角になっている
9		表題（サブタイトル）・キーワード・発表者・共同研究者・所属施設名を記載している
【倫理的配慮とその記述について】		
10		研究対象者へ研究内容および研究結果の公表等について説明し、承諾を得ている
11		研究対象者が特定できないように配慮している
12		固有名詞（当院・当病棟を含む）は使用せず、匿名にしている
13		研究への参加によって、対象者に利益や不利益が生じる場合について説明がされ、不利益や負担が生じる場合はその対処法がなされている
14		当該施設の倫理委員会（倫理委員会がない場合、幹部会議、看護部幹部会議・委員会）等でデータ使用と公表の承認が得られていることを明記している
15		文献から図表や本文を引用する場合、著作権に配慮し、出典（文献）を明記している
16		既存の尺度を使用または改変する場合、作成者から許可を得たうえで出典（文献）を明記している
17		大分県看護協会「看護研究における倫理指針」の「看護研究における研究倫理（チェックリスト）」をチェックしている
18		利益相反の有無を明記している

\*原稿提出時に必ず、内容を確認して下さい（用紙提出は不要）

## 看護研究の倫理に関する自己チェック表

研究者は、研究計画・実施に際し、少なくとも下記の項目について倫理的配慮が十分なされているか自己チェックしてください。(提出は不要です)

基本的な事柄 (研究全体を通して)	
	対象者の安全および人権の擁護、特に研究に関する知る権利・自己決定の権利に対する配慮ができて いる
	個人情報や秘密の保持などプライバシーに配慮できている
	通常の実践家と研究者の役割・活動を明瞭に区別することができる
	専門的知識、研究の意義等の吟味、文献検討は十分行われている
研究計画書	
	倫理的配慮が明記されている
	研究によって得られる利益 (協力者・社会) と不利益のバランスが検討されている
	予測される研究対象者の負担・不利益・リスク等を最小にする方法を講じている
	研究対象者の選定手続きの公平さは保たれている
	研究対象の個人情報保護 (匿名性の確保) の方法は十分
	研究協力依頼書や同意を得る方法が明記され、同意書が添付されている
	研究参加の拒否により研究対象者に不利益がないことが実質的に保障されている
	研究対象者の責任・判断能力に応じて、代表者の同意を得る方法は明示されている
	倫理委員会等の倫理審査を受け、承認が得られている
研究依頼書・同意書	
	研究の目的・内容・手順がわかりやすく、適切に説明されている
	研究協力に伴う負担・不利益・リスク等が説明されている
	いつでも参加を拒否、辞退でき、それによる不利益はないことが説明されている
	研究対象者からの質問に答える準備が説明され、連絡方法が説明されている
	研究対象者からの匿名性、個人情報がどのように守られるか説明されている
データ収集中およびその後	
	データ収集中も、断る権利を保障できている
	実践家としての第一義的な責務を果たし、ケア優先でデータ収集を行っている
	研究対象者に不利益がないように最善を尽くしている
	データや資料を厳重に管理し、個人情報の保護に努めている
	有効な看護方法が明らかになった時には、その看護を提供できるように配慮している
研究の公表 (論文・発表)	
	対象者に対して行った倫理的配慮を明記している
	個人や対象集団の特定につながる情報の記載はない
	倫理委員会等の倫理審査を受け、承認が得られたことを明記している
	文献、使用した測定用具・モデルについては引用を明記している
	利益相反の有無を明記している

※注意：各々の項目をチェックする際は「看護研究における倫理指針」(日本看護協会) 参照して下さい。

※様式は、当協会ホームページよりダウンロードする

上部余白 20 mm

表題 (中央、14 ポイント)  
～副題 (中央、9 ポイント)～

キーワード: 抄録内容を表す重要語句 3～5 個程度 (中央、9 ポイント)

○発表者氏名、共同研究者名 (右揃え、9 ポイント)  
所属施設名 (右揃え、9 ポイント) ※病棟名不要  
(1行あける)

本文

1行 45 字

表題から数えて 1 ページ 45 行

MS 明朝体 (10.5 ポイント)





図 1 タイトル

表 1 タイトル



下部余白 20 mm

左右余白 15 mm

A4 サイズ、白色紙、縦使い  
2 枚以内

余白: 上部 20 mm、下部 20 mm  
左右 20 mm

上部 7 行部分に、表題・副題・  
発表者名 (氏名の前に○印)・  
共同研究者氏名を記入  
氏と名の間には半角スペースを  
1 字入れる。  
副題の前後には「～」を入れる  
キーワードは抄録内容を表す重  
要な語句 3～5 を記入

図表を挿入する場、論述の根拠  
となるデータを厳選し、図表の  
文字や数字は白黒印刷で判別で  
きるものとする

図は、図の下部に図番号とタイ  
トルをつける

表は、表の上部に表番号とタイ  
トルをつける

本文

- ・ 1 行 45 字、表題から数えて 45 行。文字サイズは 10.5 ポイント。書体は MS 明朝体
- ・ 専門用語以外は当用漢字、新仮名づかい、ひらがなを使い、書き言葉で作成する
- ・ 文字および記号 (句読点、コンマ、かっこ等) は、1 文字または 1 記号 1 文字とする
- ・ 英文は活字体を用いて半角、数字はアラビア数字またはローマ数字を用いて半角とする